

### てつやの対談



## 女性の視点で農業に生きる！

熊谷市農業委員 塚田とよ子さん

農林水産大臣賞受賞、おめでとうございます。



平成27年度の農山漁村男女共同参画優良活動表彰が去る3月1日、日本女子大学で行われました。熊谷市西野在住の塚田とよ子さんが女性地域社会参画部門において最優秀賞の農林水産大臣賞受賞を受賞しました。熊谷市初の女性農業委員でもある塚田さんにお話を伺いました。

# 小林てつや



嫁いできてから農業を知りました。

**てつや** この度は日本一の賞となる農林水産大臣賞受賞の受賞を心からおめでとうございます。サラリーマン家庭に育ち、ご主人もサラリーマンだと伺いました。

**塚田** 農業は義父母に仕込まれ早朝から夜まで働き詰め。機械がうまく操作できないと義父から泥団子が飛んできました。そのおかげで大型トラクターでも何でも使いこなせます。

平成12年、道の駅めぬまオープンに尽力

**てつや** 平成12年、道の駅を開設するため当時高橋町長から直々に塚田さんに協力要請がありましたね。

**塚田** はい。道の駅に必要な機材から食器に至るまで準備をし、新鮮な野菜を使った加工品開発に毎晩夜中の2時3時まで。ようやく出来上がったのが「ネギ味噌饅頭」で1日に500個が飛ぶように売れ、ヒット商品になりました。

熊谷市初の女性農業委員を務めて5期14年。

**てつや** そんな実力を買われ塚田さんに「農業委員」の白羽の矢が立ちました。農業委員は男性社会、今こそ「ウーマノミクス」の言葉もでき男女共同参画も前進していますが、当時は大変なご苦労があったかと思えます。

**塚田** はい。「女は何もできないだろう」と見られましたが、「女性として見返してやろう」という根性も座りました(笑)。

女性が輝く家族経営協定

**てつや** 家族農業経営の各世帯員が、意欲とやり甲斐を持って経営に参画できる魅力的な農業経営を目指す「家族経営協定」に力を入れてきましたね。

**塚田** 就任からの4年間で54組と協定を結びました。これにより農家の意識を変え、女性の目の輝きが増したと思えます。

学校給食にネギを取り入れ

**てつや** 旧妻沼町の農業生産高は熊谷市よりはるかに上回り、地元特産の「ネギ」を学校給食に取り入れたのは塚田さんでしたね。今ではすっかり地元農産物の給食への供給体制が整っています。

**塚田** 学校給食に地元食材が使われていないことを知り、子どもたちに安心安全な新鮮野菜をと当時の農政課長や女性職員、旧妻沼町農業委員掛川会長が全面協力をしてくださいました。

集落農営組合の立ち上げ

**てつや** 小麦の小規模農家のための集落農営組織も立ち上げましたね。これは、地域の皆さんが力を合わせて土地を守り、後継者問題にも一役を担うことになりましたね。

**塚田** これからも麦を作り続けて欲しいという思いから、毎晩説明会を開き地道に説得をしました。

女性農業委員として

**てつや** これから新たに計画をしていることはありますか？

**塚田** 農家の嫁不足のための婚活イベントを考えています。営農する若い夫婦が増えたら地域力も高まりますから！



塚田さんの愛読書は元埼玉県土屋義彦知事から頂いた「負けてなるものか」。悔しい思いをする度に本のページを何度も開き、自分を鼓舞させてきたそうです。今日は本当にありがとうございました。

もち麦畑にて「とよ子のオリジナルもち麦」は人気商品

### てつやProfile

\*平成15年、19年、23年、27年  
埼玉県議会議員当選4回

【現在の役職】

- \*自由民主党熊谷支部支部長
- \*自民党埼玉県連財務部長
- \*埼玉県議会ラグビー振興議員連盟会長
- \*2020オリンピック・パラリンピック/ラグビーワールドカップ2019埼玉県推進委員会副会長
- \*自民党県議団副団長
- \*埼玉県ラグビーフットボール協会副会長
- \*熊谷市バドミントン協会会長
- \*熊谷市ソフトボール協会会長
- \*熊谷市スキー連盟会長
- \*保護司
- \*桜ファンクラブ副会長

【これまでの経歴】

- \*平成19年県土都市整備委員長
- \*平成20年文教委員長
- \*平成21年企画財政委員長
- \*平成22年環境農林委員長
- \*平成23年地方分権行財政改革特別委員会委員長
- \*平成24年次世代人財育成・文化・スポーツ振興特別委員会委員長
- \*平成25年埼玉県議会運営委員長
- \*緊急経済対策特別委員会委員長
- \*埼玉県都市計画審議委員
- \*平成26年危機管理  
大規模災害対策特別委員長
- \*ラグビースクール第1期生

小林てつやは地域社会のために頑張る皆さんを応援しています

### 発達障害の就労支援「ジョブセンター熊谷」

埼玉県議会議員になり 14 年目、県議会質問の重点項目のひとつとして、てつやは「障がい者」への支援と理解を続けています。

埼玉県内4か所目となる、発達障害者就労支援センター「ジョブセンター熊谷」が先月6月1日に熊谷市桜木町に開設しました。発達障害者の就労を移管して支援するのは**全国初**の試みとなり、運営は「NPO法人ワーカーズコープ」様がしています。

県内の15歳未満の発達障害児・者は推定約61000人。自閉症や注意欠陥多動性障害(ADHD)、アスペルガー症候群などの発達障害がある人の就労相談から職場定着支援まで総合的に対応する県の施設です。

県内に在住し、就労を希望する発達障害者ならだれでも利用できます。



- \*相談・・・来所や電話による相談にきめ細かく対応します。
- \*訓練・・・オフィスを再現したスペースでコミュニケーション能力やビジネスマナーを修得する訓練を実施します。

☎048-501-8917 FAX 048-501-8928  
9:00～16:00(土、日、祝休み)  
熊谷市桜木町1-137 サンライズ桜木  
堀口第二ビル4階・5階  
(JR高崎線・秩父鉄道熊谷駅南口徒歩1分)

# てつやの活動

## 熊本地震 支援へ

平成 28 年 4 月 14 日、16 日に震度 7 の地震が連続して発生した平成 28 年熊本地震は、死者 49 名、負傷者 1,600 名余りという甚大な被害をもたらし、現在も多くの方が避難生活を余儀なくされています。改めまして、地震災害により亡くなられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された方々に対し心からお見舞いを申し上げます。

埼玉県では、被災地での医療支援を行う医師、被災された方々の健康相談や心のケアを行う保健師のほか、罹災証明書の発行に必要な被災建築物の調査を行う職員など延べ 290 人を派遣するなど、全力を挙げて支援に取り組んでまいりました。

6 月 1 日～2 日、てつやは埼玉県議会自民党県議団副団長として義援金 170 万円を自民党熊本県連にお届けしました。



### 【国に要望書を提出】

本県は、その全域が首都直下地震対策特別措置法に基づく緊急対策区域に指定されており、その地震モデルであるマグニチュード 7 クラスの首都直下地震における県内の被害想定は、死者約 3,800 人、建物の全壊・焼失棟数約 97,000 棟とされています。

大規模自然災害等に備えた効果的な対策の推進のために、国に要望書を提出しました。

## ジェームズ・ルシアと再会

ジェームズ・ルシア (James P. Lucier, Jr.)  
シンジケート・コラムニスト  
キャピタル・アルファ・パートナーズ LLC  
マネージング・ディレクター

20 年前の出会いで政治家になるきっかけを作ってくれた人です。1994 年のアメリカ保守革命を草の根から支えた一人であり、連邦議会にも幅広いネットワークを持っています。

## サロンでつや Salon de tetsuya

## 理想を希望のまま終わらせないために!

そのために様々な活動を行う日々。「てつや」の「記録」をじっくりとご覧ください



江袋溜井 川まるごと再生事業完成竣工式典

第2回オリンピック・パラリンピック 2019ラグビーW杯実行委員会

リオ五輪セvensラグビー日本代表アナリスト中島氏を激励する会

玉井地区自治会連合会の皆さんと熊谷警察署長に信号設置要望

自民党熊本県連に義援金を届けました

ブラジル大使の知事表敬訪問に同席しました



三尻地区 八幡神社神饌田 早乙女による田植え

第29回県民総合体育大会 県民スポーツフェスティバル

高麗王若光記念式典にて

ハツ場ダム建設状況視察

山形県議会議員の皆様にもノーマライゼーション条例を説明

上田知事にW杯に向けての要望書を提出しました